# 炭素硫黄分析装置

ワイドレンジタイプの炭素・硫黄分析装置。金属、鉱石、セラミックス等、無機物全般の炭素及び硫黄を燃焼法によって測定する。本装置では、JIS G 1211-3(2011)「鉄及び鋼-炭素定量方法-第3部:燃焼-赤外線吸収法」に規定された炭素定量方法、JIS G 1215-4(2010)「鉄及び鋼-硫黄定量方法-第4部:高周波誘導加熱燃焼-赤外線吸収法」に規定された硫黄定量方法が実施できる。

装置のコントロール・分析条件の設定・診断など全ての操作は、フレキシブルアームに搭載された、Windows ベースのタッチスクリーン式インターフェイスを介して行う。

**[型式]**

LECO ジャパン合同会社　CS844

**[仕様]**

分析範囲　炭素：0.0006 ～ 60 mg（1g サンプルでは 0.6ppm ～ 6.0%）
　　硫黄：0.0006 ～ 60 mg（1g サンプルでは 0.6ppm ～ 6.0%）

分析精度　炭素：標準偏差 1s　0.0003mg（0.3ppm）または 0.5%RSD　いずれか大きい方
　　硫黄：標準偏差 1s　0.0003mg（0.3ppm）または 0.5%RSD　いずれか大きい方

キャリブレーション　：標準試料(1 点または多点)、手動

分析時間　：40 秒（通常）

サイクルタイム　：130 秒（通常）

処理能力　：27 サンプル/時間（通常）

試料重量　：1g（通常）

検出方法　：非拡散赤外吸収法

**[設置年度]**

2013 年度（平成 25 年度）

※ 平成 25 年度（公財）JKA 補助金対象機器

○ 設備・機器に関してのご質問、設備利用の手続き等は、電話（084-931-2402）でお問い合わせください。設備利用の利用手続き等は https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/29/setsubiriyo.html でご確認ください。

令和 6 年 7 月 30 日